

研修報告書 No 41

・ 県外在住医師から見た高知の地域医療の状況。

高知の医師数は全国的に見れば医師数的には充実しているようだが、東西に長いために面的にカバーするのに苦労しているように見えた。今回、研修させていただいた〇〇病院や△■診療所では、それぞれ担っている役割に対しては、ソフト、ハードともに充足しているように感じた。〇〇病院の周囲では、開業医が多く医療の効率が落ちているように思う。いろいろな都合でなかなか難しいと思うが、県全体で医療資源の再分配を進めれば、患者も医療者ともにより豊かな生活が送れると思う。

・ 研修内容に対する意見

〇〇病院では、内科、外科、耳鼻科、眼科、整形外科の外来見学を行った。指導医の先生の外来をじっくり見せていただくのは学生の時以来で、以前とは違った観点で考えさせられることが多かった。実際に自分で外来をしてみると細かい部分の言い回しや、患者さんへの説明など意外と難しいなと思っていたが、先生方の外来を拝見して勉強になることが多かった。外来の合間には、それぞれの先生が病院のあり方や地域医療についての考えを話してくださった。また、訪問看護にも連れて行っていただき、退院後、どのような環境の中で暮らしているのかを知ることができた。予想以上に病院での生活と自宅での生活環境は異なっていることに気付かされた。

△■診療所では、外来の見学と、訪問診療、特養への往診、保育所検診に連れて行っていただいた。往診というものを今回初めて見せていただき、とても参考になった。100歳越えの幸せそうなおばあさんに会い、なんだか癒されました。2日目には町長も参加する歓迎会を開いてくださり、〇〇△町の現状を知り、文化に親しむことができた。池川茶や茶畑プリン、いりもちなどの特産物を食べたり、日本一きれいと言われている〇〇△を眺め、忙しい研修の中でも素で楽しむことができました。一点だけ申し上げることがあるとすれば、季節が悪かった。春夏秋であれば、もっと高知のよいところを知ったり、地域の文化に親しめたのではないか、という思いは大きい。

・ 今回の臨床研修で得たと考えられるもの

今までの研修では、救急などの急性期疾患の患者さんが多かったが、今回の研修では、慢性期疾患で長期間にわたり外来フォローや入院されている方が多く、高血圧や糖尿病、高脂血症などの管理について学ぶところが多かった。かかりつけ医として、その場しのぎの対応ではなく、長期にわたって患者さんの食生活、生活習慣を含めて治療を考えていくことを学ぶことができた。

高知に来たのは今回が初めてでしたが、岡林さまを始め、病院長から高知県民の方々の温かいご支援をいただき、無事に充実した研修を終えることができました。ありがとうございました。